

Osaka Metro まちさんぽ

阿倍野駅

60分
コース

谷町線 阿倍野駅

古代からの阿倍野

阿倍氏の領地に上町台地の古墳跡を求めて

阿倍野駅から南側に広がる台地は、古代には上町台地の最高部にあたり、西側には1.5kmほどのところに海岸線が迫っていました。阿倍野駅南側の阿倍野筋遺跡には弥生時代から古墳時代にかけての竪穴住居や掘立柱建物が多く見つかっています。大和朝廷の時代にこの地を領有していた豪族が阿倍氏で、以来、ここは阿倍野と呼ばれてきたとされています。



阿倍野筋遺跡
(阿倍野区民センター展示写真より)



スタート駅



約 60 分



ゴール駅

谷町線
阿倍野駅
①号出口

1
阿倍寺跡推定地
(松長大明神)

2
展示コーナー
阿倍野区民センター

3
阿倍野墓地
(大阪市設南霊園)

4
上町台地の崖

5
史跡丸山古墳跡

6
聖天山公園
(聖天山古墳)

7
正圓寺

堺筋線
天下茶屋駅

ここにあった阿倍寺は阿倍氏の氏寺だと考えられています。藤原鎌足らと大化の改新を推進した阿倍倉梯麻呂も一族で、有名な陰陽師・安倍晴明の生誕地も阿倍野とされ、その後続く全国の阿倍さん、安倍さんのルーツだとされています(大和桜井説もあります)。

阿倍野駅
60分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

谷町線 阿倍野駅

古代からの阿倍野

阿倍氏の領地に上町台地の古墳跡を求めて

阿倍野駅から南側に広がる台地は、古代には上町台地の最高部にあたり、西側には1.5kmほどのところに海岸線が迫っていました。阿倍野駅南側の阿倍野筋遺跡には弥生時代から古墳時代にかけての竪穴住居や掘立柱建物が多く見つかっています。大和朝廷の時代にこの地を領有していた豪族が阿倍氏で、以来、ここは阿倍野と呼ばれてきたとされています。

スタート駅

約 60 分

ゴール駅

谷町線阿倍野駅①号出口

堺筋線天下茶屋駅

古代の阿倍氏・安倍氏

阿倍氏は孝元天皇の皇子大彥命を祖先とするとされ、飛鳥時代から奈良時代に宮廷で高官を輩出しました。大化の改新の新政権で左大臣となったのは阿倍倉梯麻呂(内麻呂)で、遣唐使で留学生として唐に渡って唐の高官に任ぜられた阿倍仲麻呂、平安中期には陰陽師・安倍晴明が活躍しました。阿倍が安倍に改称されたのは平安時代です。また、阿部氏は徳川家譜代の氏で、安部氏は信濃の豪族の家系になり、阿倍氏・安倍氏とは異なります。

1 阿倍寺跡推定地 (松長大明神)

松長大明神とある祠の場所に阿倍寺跡推定地の碑があります。阿倍寺は、古代この地を支配していた阿倍氏の氏寺であったとされ、ここから白鳳から奈良時代の重弧文軒瓦や鬼瓦が出土し、塔刹柱礎石(塔心礎)が発見されました。かつては阿倍寺千軒と呼ばれるくらい多数の建物がある大伽藍だったようです。塔心礎は現在、天下茶屋公園に移設されています。



2 阿倍野区民センター 展示コーナー

ここで阿倍野筋遺跡や阿倍寺跡の資料が展示されています。阿倍野筋遺跡からは縄文時代の石鏃、古墳時代前期の竪穴住居から出土した土師器、漁具があり、土師器の鉢には朱を入れた痕跡があります。阿倍寺跡からは奈良時代から室町時代にかけての軒瓦が展示されています。



3 阿倍野墓地(大阪市設南霊園)

一面の農村地帯だった天王寺村に、明治7年(1874)に刑場廃止後の千日前墓地の移転先として阿倍野墓地が開発されました。明治8年(1875)に火葬禁止令が解除されて火葬場がつくられ、墓地と斎場ができました。明治40年(1907)に大阪市が買収して経営することになり、市内各所の墓地が次々とここに改葬され、現在は大阪市設南霊園が正式名称です。明治の変動期に衰退した大阪経済を立て直した五代友厚の墓、鳥羽伏見の戦いで傷ついて引き揚げる途上に桜ノ宮で捕縛され、あるいは自決した長州藩志士の墓(死節群士の墓)や、千日前刑場跡に遊興地を開発した奥田弁次郎夫妻の墓がよく知られています。



4 上町台地の崖

大阪市を南北に貫く上町台地の西端は断層になっていて10mほどの高低差があります。この上町断層は東側(阿倍野区側)が隆起し、西側(西成区側)が沈下する逆断層といわれ、垂直に切り立った断層崖になっています。阿倍野墓地から大谷中・高校沿いの道に断層崖の特色をよく見ることができます。



5 史跡丸山古墳跡

このあたりは古墳の痕跡がない住宅地ですが、かつては円墳が存在し、頂に長方形と宝冠型の石塔2基があって、濠の跡らしい窪地があったと記録されています。古墳の形状から丸山と呼ばれ、寛政8年(1796)の『摂津名所図会』には「兼好古墳」と記されて兼好法師がこの地に隠棲していた伝承がうかがえます。大正12年(1923)に石棺、香炉など埋葬物が発見されましたが現存していません。



6 聖天山古墳 (聖天山公園)

聖天山公園内にある直径13mほどの6世紀の小古墳で、現状は外周を石垣で囲われたクスノキが1本立っています。昭和26年(1951)に石室が発見され、埴輪・土器・馬具等の副葬品と人骨が出土しましたが、現在は所在が不明です。南側にある正圓寺境内も西側に前方部を持つ前方後円墳ではないかと推測され、平成29年(2017)の調査で5世紀の埴輪が出土しています。



7 正圓寺

正圓寺は元禄年間に、古代阿倍氏の氏寺であった阿倍寺の一坊が移築されたとされる古寺です。正圓寺参道入口に「兼好法師隠棲庵址」と「兼好法師薬打石」の碑があります。南朝の武将・北畠顕家が阿倍野で北朝軍に敗死すると、顕家の死を悼んだ兼好はここに庵を構えて薬を打ち、蓆を織って生計を立て、読経三昧に菩提を弔ったということです。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2024年10月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行: Osaka Metro

協力: 一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先) 大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援: 歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそ歩](#) で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄



毎月第1金曜日発行